

## I 運営理念

### 安 全 ・ 安 心 ・ ゆとり

- 一 在宅、施設にかかわらず、介護を必要とする方々のかけがえのない命を尊重し、心が落ちついて生活できる介護サービスを提供します。
- 一 利用者、家族、職員がお互いに信頼関係を築き、気がかりなく、安心感に包まれた、心が落ちつく生活環境をつくります。
- 一 心にゆとりをもち、一人ひとりがその人らしく、おだやかな生活を送ることができる環境を整えます。

わが国の人口は近年減少を続け、2025年（令和7年）には団塊の世代800万人が75歳となり、2040年（令和22年）には65歳以上の人口の約35%に、2065年には総人口が9,000万人を割り込み、38%台の水準になると推計されています。

2021年（令和3年）1月の近隣市町の高齢化率は、福島市30.11%、伊達市35.52%、桑折町37.34%、国見町41.36%、川俣町41.52%となっており、少子高齢化と人口減少が進んでいます。

わが国の2040年問題は、一般的には人口の減少及び生産年齢人口の減少、後期高齢者の増加が2040年に向けて同時に進行し、労働力不足に陥ることを指しています。人口が増え続けるのは85歳以上の年齢階層のみであり、その他の年齢階層は全て減少局面に入ります。今後、介護ニーズが急増するとともに、その支え手となる生産年齢人口が2020年に比べて2040年には1,428万人減少することから、医療・介護分野、社会保障のコストの問題が表面化するとともに、幅広い業種での人手不足が深刻化するのではないかとされています。今後、不足する介護人材確保の対策はもとより、事業所のICT化や様々な働き方の見直しなど、生産性向上を重視することが不可欠となります。同時に2024年の改正介護保険法では、給付と負担の見直しのほか複合型在宅サービスの創設などが議論されており、報酬改定とともに今後の動向を注視してまいります。

また、2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、当法人においても重大な影響をもたらし、施設内での感染、利用控え、面会中止、行事等の縮小中止、職員の出勤制限など、経営及び事業運営に大きな打撃となりました。

さらには、ロシアのウクライナ侵攻は、世界経済にも大きな影響を与え、物価上昇やエネルギー価格の高騰は法人経営においてもすでに自助努力の枠を超える極めて深刻な影響を及ぼしています。

これら高齢者介護施設を取り巻く経営環境が厳しい状況の中、社会福祉法人信達福祉会は、令和5年度において、法人の設立目的、意義、使命を再認識し、信達地域において高齢者の心のよりどころとして、また身近な施設として、高齢

者が求める介護サービスを提供するため組織一丸となり、心穏やかに人生を過ごすことのできる施設づくりを目指し、多様な人材を確保育成するとともに、働く者にとって快適な職場環境の実現と時間外勤務の削減など労働条件の改善を図り、健康な職場づくりを推進するとともに、介護ロボットや ICT を活用するなどして生産性の向上を図り、地域にとって必要な高齢者介護サービスを継続的に提供できるよう長期にわたって安定した経営の維持に取り組みます。

## Ⅱ 経営改善の重点

令和 5 年度は、令和 3 年 3 月に制定した経営改善計画の最終年度となります。これまでの取り組みから明らかになった課題をもとに、持続可能な経営をめざし、財務状況の改善、将来を見据えた事業経営戦略づくり、人材の確保と育成など、総合的な経営能力の向上を図ります。

〔重点事項〕

### ◇経営改善計画の進行管理・見える化

経営改善計画目標達成のため、進捗状況の管理に努め共有化を図ります。

### ◇安定した経営の推進

各種加算取得の取組及び利用者の安定確保などを通じ収入構造を点検し安定した収入確保に努めます。

### ◇人事・労務管理の適正化

定数管理に基づく配置を行い、労働環境の改善に努めます。

### ◇事務・業務改善による職場環境の整備

事務・業務見直し及び ICT 導入による業務の効率化、生産性向上を図ります。

## Ⅲ 事業計画

### 1 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上

#### (1) 利用者の拡大と利用しやすい施設づくり

利用者とその家族にとって利用しやすい施設づくりと、利用者の尊厳を保持しその人らしく生活できる介護サービス提供を行い、利用者の拡大を図ります

- 利用者の拡大に向けて利便性やサービス向上への取り組み
- 利用者等の要望や改善に向け、利用者・家族満足度共通調査を実施
- 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター等と定期的な情報交換を行い、多様な要望に対応できるサービスの向上

#### (2) 質の高いサービスの提供

専門職によるチームケアで、その方の持っている力を最大限発揮できるよう全面的に支援します。

- 介護度、生活歴に対応した介護支援計画に基づく、科学的介護の取り組み
- リハビリの充実や増える認知症への対応など新たな課題への取り組み
- 積極的な研修受講やスキルアップに取り組み、質の高い介護の実践

**【特別養護老人ホーム・ショートステイ】**

**〔介護〕**

- ◇利用者・家族と良好なコミュニケーションに努めます。
- ◇個別機能訓練により、ケガの予防及び身体機能の維持改善を図ります。

**〔看護〕**

- ◇利用者の健康管理を行い、また、歯科医師等と連携し、誤嚥性肺炎の予防に努めます。
- ◇新型コロナ及びその他感染症に関する知識を深め一層の予防に努めます。

**〔栄養〕**

- ◇利用者の栄養管理を行い、栄養状態の維持、低栄養の予防や改善、生活機能の維持を図ります。
- ◇季節を感じる選択食や行事食を通じて、利用者に食の楽しさを提供します。

**〔ショートステイ〕**

- ◇受入体制の整備及びケアの質の向上を図り、事故・感染症防止に努めます。
- ◇効率的な運営に努め空床をなくします。
- ◇個別機能訓練及び認知症進行予防に応えるサービス提供体制づくりをすすめます。

**【デイサービスセンター】**

- ◇在宅高齢者の孤立感の解消や心身機能維持のサービスを提供します。
- ◇日常生活動作訓練及びアクティビティによる心身の活性化に努めます。

**【ケアハウス広瀬】**

- ◇安心して心豊かに生活できるよう心身状況に配慮した住居を提供します。
- ◇身体機能や認知機能の低下を防ぐための介護サービスを提供します。

**【梁川ホーム指定居宅介護支援事業所】**

- ◇住み慣れた地域で質の高い生活を営むことができるよう支援します。
- ◇医療、福祉の関係機関と連携し、公平・中立な立場で総合的に支援します。

**【伊達市梁川地域包括支援センター】**

- ◇「地域包括ケアシステム」を担う機関としての役割を果たします。
- ◇地域の高齢者の暮らしを支える総合的な相談窓口の業務を行います。

## 2 職員が育つ組織づくり

### (1) 職員の成長を促す人材育成

職員の成長は、法人・施設の持続的発展に不可欠であり、職員研修、職員提案制度等の実施により、職員が育つ組織づくりを進めます。

- 採用時研修、新任研修、役職別研修、その他専門研修等の計画・実施
- 職員の経営参画と業務改善を促す職員提案制度の実施
- 新採用職員の定着をはかるプリセプター制度やメンタルヘルスの支援

### (2) トータルな人事管理制度の構築

将来的に不足が懸念される職員の確保に取り組むとともに、高齢職員の活用及び介護助手制度の導入等を通じて、効率的な職場づくりをすすめます。

- 職員の定数管理及び定数に基づく採用計画作成と採用活動
- 高校生及びその保護者等に対する職場紹介企画の実施
- 高齢職員の活用と介護助手制度の導入による職場環境の条件整備
- 有給休暇の取得促進と時間外勤務の削減などワークライフバランスによる働きやすい職場づくり
- 「えるぼし認定」事業所として女性活躍の取組継続とともに、男女とも活躍できる職場づくりの推進

## 3 持続可能で未来志向の経営管理

### (1) 持続可能な財務運営

収入見込みを適切に把握し、支出を節減して、常時、経営成績と財政状態を把握し、経営に役立てます。

- 各種加算の取り組み強化と利用者の利用拡大による稼働率の向上
- 長期修繕計画に基づく施設設備の計画的改修
- 法人一括契約や消耗品等の在庫管理等による経費節減

### (2) 地域社会におけるつながりづくり

法人及び施設を地域の方々に知っていただくために積極的に情報を発信し、あわせて災害発生時には地域と協力して被害の拡大を防ぎます。

- SDGsの趣旨に沿った事業の展開
- 広報及び情報発信力の強化
- 職場体験、施設ボランティア受入の実施
- 地震、水害等災害対策及び事業継続計画（BCP）の見直し、訓練の実施
- 行政及び消防団、各種ボランティア団体等地域諸団体との連携

## IV 法人本部

### 1 経営基盤の強化と財務運営の適正化

#### (1) 経営組織のガバナンス強化

- 経営改善計画の進行管理と地域の介護需要の動向などの把握
- 充実した法人情報の発信による透明性の確保とPRの強化
- 事務処理の合理化、迅速化、ICT化の実施
- 施設設備更新計画の進行管理、大規模改修の推進

#### (2) 持続可能な財務運営

- 収入の確保と経費節減により均衡ある財務運営の実施
- 経営シミュレーションに基づく長期的視点に立った財務運営
- 施設整備の充実に向けた積極的な補助金・助成金の活用
- 備品等購入の一括契約による経費の節減と有効活用

#### 【目標数値】

| 目標計画                           | 令和4年度実績  | 令和5年度目標           |
|--------------------------------|----------|-------------------|
| 月次報告分析の活用による収入確保対策の提案          | —        | 目標稼働率の達成          |
| 施設整備計画に基づく施設の長寿命化計画及び資金積立計画の作成 | —        | 施設長寿命化及び資金積立計画の作成 |
| ICTの導入による事務処理業務の迅速化            | —        | システム導入により時間外20%削減 |
| 一括契約件数を増やすことによる経費の節減           | 一括契約数 5件 | 一括契約数 15件         |

### 2 人材の確保と育成、働きやすい職場づくり

#### (1) 人材の確保と育成

- 職員定数管理に基づいた採用事務の一元化
- ワークライフバランスの充実と多様な働き方ができる仕組みの構築
- 新人研修及び職位別、職種別研修の充実

#### (2) 業務改善と職場環境の整備

- ICTの積極的な活用による業務の効率化と負担軽減
- 業務標準化及び業務改善を目的とした各係担当者会議の開催
- 職員の経営参画意識の醸成をはかる職員提案制度の継続実施
- メンタルヘルス及び各種ハラスメント予防を通じた職員の健康管理

#### 【目標数値】

| 目標計画                     | 令和4年度実績        | 令和5年度目標                       |
|--------------------------|----------------|-------------------------------|
| 計画的な採用事務の実施              | 職員定数管理の実施（介護）  | 職員定数管理（全職種）と年間採用活動計画に基づく人材の確保 |
| 多様な働き方ができる仕組みの構築         | —              | 介護助手制度の構築                     |
| 人材育成の推進                  | 職位別継続（課長）研修の実施 | 職位別研修の充実と研修効果の見える化            |
| ICTや介護ロボットの活用による業務効率化の推進 | ICT導入プロジェクト    | 見守り支援システム導入（夜勤時などの業務負担軽減）     |

## 令和5年度あつかし荘事業計画

### 1 全体

桑折町・国見町の高齢化率は高く2040年までの推計においては人口が減少する中であっても現在とほぼ同じ数の要支援・要介護認定者が継続するものと見込まれています。また、一人暮らし及び高齢夫婦のみ世帯は国見町で3割、桑折町で4割となり、その中で認知症の支援を必要とする方も多くなっています。

あつかし荘はそうした地域の事情を踏まえながら、介護を必要とする方に速やかな対応をするために効率的なベッド稼働とICT・見守り支援システム等の活用により安全で質の高い介護を推進します。

#### 【目標数値】

| 目標数値  |           | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標 |
|-------|-----------|---------|---------|---------|
| 平均稼働率 | 特別養護老人ホーム | 99.0%   | 98.3%   | 99.2%   |
|       | ショートステイ   | 73.7%   | 76.0%   | 80.0%   |

### 2 特別養護老人ホーム

#### (1) 介護

集団及び個別のレクリエーションの機会を多くし選択の幅を拡げて、その方に応じた過ごし方ができるよう支援していきます。

認知症ケア、介護技術の向上に努め、利用者が穏やかに過ごし事故等なく安全に過ごせるように支援します。

#### 【目標数値】

| 目標計画        | 令和3年度実績                        | 令和4年度見込                        | 令和5年度目標                        |
|-------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| レクリエーションの実施 | 1回/週                           | 1.9回/週                         | 3回/週                           |
| 認知症介護の知識習得  | マニュアルの学習<br>県認知症介護<br>研修受講(3名) | マニュアルの学習<br>県認知症介護<br>研修受講(3名) | マニュアルの学習<br>県認知症介護<br>研修受講(3名) |
| 介護技術講習の開催   | 2回(入職5年以内対象)<br>個別OJT(随時)      | 職員個別OJT(随時)                    | 全職員研修2回<br>入職5年以内職員対象技術指導(随時)  |

## (2) 看護

利用者・家族に寄り添った看取り介護の充実を図ります。

感染症ゼロに向け、職員の衛生教育と予防・蔓延防止対策を徹底します。

### 【目標数値】

| 目標計画                  | 令和3年度実績              | 令和4年度見込         | 令和5年度目標          |
|-----------------------|----------------------|-----------------|------------------|
| 看取り介護における利用者・家族の意向の把握 | 2段階の確認（入所時、看取り介護開始時） | ACP（人生会議）の体制づくり | ACP（人生会議）の活用     |
| 感染症予防対策の強化（マニュアルの見直し） | —                    | 感染症発症時におけるBCP策定 | 感染症別マニュアルの見直し    |
| 感染症研修及び訓練             | 研修2回・訓練1回            | 研修2回・訓練3回       | 研修2回・訓練1回（PPE着脱） |

## (3) 栄養管理

旬の食材を用いた献立や選択食・行事食を提供し食事を楽しめるように支援します。

栄養ケアマネジメントにより個人の嗜好に配慮しながら低栄養予防に努めます。

### 【目標数値】

| 目標計画      | 令和3年度実績 | 令和4年度見込         | 令和5年度目標   |
|-----------|---------|-----------------|-----------|
| 残菜量       | 1日平均6kg | 1日平均8.6kg（1月現在） | 1日平均7kg以下 |
| 低栄養リスク者割合 | 14%     | 15%             | 10%以下     |

## (4) 生活相談

待機者の面接調査等を早期に行い常に複数の待機者を確保することで退所から入所までの空床期間を短縮します。

また、入院を少なくするために利用者の体調管理及び事故予防に努め、入院となった場合にも早くから病院相談員との連携を取ることでできる限り入院日数の短縮を図り、稼働率99%以上の達成を目指します。

ご家族へ利用者の体調・近況をこまめに伝えるとともに、相談・苦情・要望には迅速かつ適切に対応します。

### 【目標数値】

| 目標計画            | 令和3年度実績                 | 令和4年度見込                       | 令和5年度目標               |
|-----------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------|
| 入所までの空床期間       | 全体平均14.4日               | 全体平均10日（1月現在）                 | 全体平均10日未満             |
| 相談援助・苦情対応スキルの向上 | 外部研修派遣（相談援助面接1名、苦情受付1名） | 外部研修派遣（相談援助面接1名、施設ケアマネ1名）係内研修 | 係打合せ（毎月1回）時に事例検討・内部研修 |

### (5) 総務管理

長期修繕計画に基づきボイラーの更新、見守りセンサー内蔵ベッドの導入を進め、安定した事業継続の基盤づくりを図ります。

自然災害発生時における事業継続計画（BCP）に基づいた研修・訓練を進めます。

連続休暇の全員取得を継続するとともに、見守り支援システムの活用など心身負担の軽減に向けた業務改善に取り組みます。

#### 【目標数値】

| 目標計画            | 令和3年度実績                  | 令和4年度見込                               | 令和5年度目標                  |
|-----------------|--------------------------|---------------------------------------|--------------------------|
| 設備機器等更新・ICT導入状況 | 食堂エアコン入替<br>介護記録用タブレット導入 | タブレット4台追加<br>ナースコール入替<br>(見守り機能・インカム) | ボイラー入替<br>見守りセンサー内蔵ベッド導入 |
| BCPの策定及び訓練      | —                        | BCPに基づく訓練1回                           | BCPに基づく訓練2回 研修1回         |
| 職員の心身ストレスの軽減    | 年休取得5日以上                 | 連続休暇の取得率100%<br>インカム・見守り支援システム導入      | 連続休暇取得率100%<br>ICT機器の活用  |

### 3 ショートステイ

居宅介護支援事業所への空床情報提供のほか満足度調査を行い、ニーズに合わせたサービスの提供に努めます。

利用者・家族のニーズを聞き取り、認知症ケアや身体介護の知識・技術を活かした介護を行い、ご家族やケアマネと共有して在宅介護の一助となるように取り組みます。

#### 【目標数値】

| 目標計画                       | 令和3年度実績 | 令和4年度見込            | 令和5年度目標                    |
|----------------------------|---------|--------------------|----------------------------|
| 利用実人数                      | 月平均22人  | 月平均20.2人<br>(1月現在) | 23人                        |
| 満足度調査の実施                   | 家族対象1回  | 家族1回<br>居宅事業所1回    | 家族1回<br>居宅事業所(調査1回、聞き取り随時) |
| ケアマネへの空床情報・サービス内容についての情報配付 | 月1～2回   | 月2～3回              | 月3回                        |

## 令和5年度梁川ホーム等事業計画

### 1 全体

伊達市は高齢化率が35.4%と高く、高齢者（65歳以上）独居および高齢者夫婦世帯は年々増加傾向にあることから、介護サービスの必要な高齢者は今後も増えていくと予想されます。多方面から施設・在宅の生活を支える事業所として、これからも梁川ホームが選ばれる施設となるよう、職員の資質向上や介護サービスの質の向上に取り組み、稼働率の安定を図ります。

#### 【目標数値】

| 目標計画  |           | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標 |
|-------|-----------|---------|---------|---------|
| 平均稼働率 | 特別養護老人ホーム | 98.4%   | 97.0%   | 98.5%   |
|       | ショートステイ   | 55.5%   | 65.0%   | 70.0%   |
|       | デイサービスⅠ型  | 84.4%   | 78.6%   | 85.0%   |
|       | デイサービスⅡ型  | 62.6%   | 56.5%   | 63.0%   |
|       | ケアハウス     | 86.9%   | 89.2%   | 90.0%   |

### 2 特別養護老人ホーム

#### (1) 介護

利用者満足度の向上に向けて、安全で利用者の状況に合わせたケアを実施します。また、手工芸や編み物など個人の趣味活動の充実を図り、季節ごとの行事開催やフロア単位でのレクリエーション実施など、楽しみのある生活を送っていただけるよう努めます。さらに研修を通して職員の資質向上と認知症への理解を深めます。

#### 【目標数値】

| 目標計画            | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標          |
|-----------------|---------|---------|------------------|
| 特養内事故件数         | 66件     | 60件     | 10%減             |
| 計画的なレクリエーションの実施 | 全体 月1回  | 全体 月2回  | 全体 月1回<br>通り 週1回 |
| 内部研修（介護技術）      | 1回／年    | 1回／年    | 4回／年             |

#### (2) 看護

感染症発生時には各職種との情報共有を行い、利用者の安全を確保します。また、感染症対策委員会を中心に標準予防策を徹底し、各個人の意識を高め、「かからない」「うつさない」対策を実践できるようシミュレーションを重ね、感染拡大を防ぎます。

利用者の体調変化や異変の兆候に早く気付くため、他職種との「報・連・相」を密にし、健康確認と正確な記録を行います。また体調変化時は速やかに協力病院と連携し、利用者、家族が安心して過ごせるようにします。

#### 【目標数値】

| 目標計画          | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標 |
|---------------|---------|---------|---------|
| 感染者数（コロナ感染以外） | 0名      | 0名      | 0名      |
| 入院者数（急変など）    | 3名      | 3名      | 0名      |

### (3) 相談援助

空床期間を短縮するため、入所待機者の体調や意向の確認、関係事業所と連携をしながら、入所の手続きを円滑に進めます。

家族への電話や面会時には利用者の細やかな情報を伝えるなど、家族の連絡を密にとり、相談しやすい雰囲気を作るとともに、親切丁寧な言葉遣いを心がけます。

#### 【目標数値】

| 目標計画         | 令和3年度実績  | 令和4年度見込  | 令和5年度目標           |
|--------------|----------|----------|-------------------|
| 入所までの空床期間    | 平均7.8日   | 平均14.3日  | 平均10日以内           |
| 相談援助苦情対応力の向上 | 外部研修参加1回 | 外部研修参加2回 | 外部研修参加2回、内部研修隔月実施 |

### (4) 栄養管理

栄養管理の最大の目標は体重減少の防止です。消費エネルギー量に対する摂取エネルギー量の不足はサルコペニア（筋肉量減少）を招き骨折リスク、誤嚥性肺炎の要因になり低栄養を加速します。そのため食事の満足度を向上し元気に食べて体重を落とさない栄養のサポートをしていきます。

また、日々のミールラウンド（食事場面の観察）では、利用者の咀嚼・嚥下の評価、食の認知度の評価を行い、問題点や課題を記録し最適な食形態の提案、姿勢の調整、声掛け、見守りの方法を考え食環境を整備し、経口摂取の維持に努めます。

#### 【目標数値】

| 目標計画       | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標 |
|------------|---------|---------|---------|
| ミールラウンドの強化 | 週1回     | 週1回     | 週3回     |
| 誤嚥性肺炎の発症者  | 2名      | 0名      | 0名      |

### (5) 機能訓練

利用者の要望や状態に応じた個別の計画に基づく機能訓練を実施し、身体状態の維持・向上を図ります。さらに、適切な介護用品を選定し、安心して生活できるように環境整備を行います。また、ベッドや車いすで良肢位を保持することで転倒・転落による外傷を予防するとともに、褥瘡ゼロを目指します。

#### 【目標数値】

| 目標計画     | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標 |
|----------|---------|---------|---------|
| リハビリ対応人数 | 平均51.2人 | 平均54.5人 | 平均58人   |
| 褥瘡の発生    | 2件      | 3件      | 0件      |
| 骨折事故の発生  | 5件      | 3件      | 0件      |

### (6) 総務管理

持続可能な施設運営を図るため適正な予算管理と効率的な備品管理により経費節減に努めるとともに、施設設備の更新計画に基づき適切な保守管理を行います。また、ICTや介護ロボットの活用により業務の効率化と職員の負担軽減を図ります。さらに、災害や感染症が発生した場合でも利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう、事業継続計画（BCP）の見直し及び訓練を実施します。

【目標数値】

| 目標計画     | 令和3年度実績                     | 令和4年度見込                                  | 令和5年度目標                      |
|----------|-----------------------------|------------------------------------------|------------------------------|
| 時間外勤務の削減 | 470時間／月                     | 272時間／月<br>(前年度比<br>42.1%削減)             | 217時間／月<br>(前年度比<br>20.0%削減) |
| 施設設備の整備  | エアコン(事務室等)、ベッド更新、温水洗浄便座等の設置 | エアコン(デイⅡ型)更新、多床室簡易個室化工事、タブレット・掃除ロボット等の購入 | トイレ(ほほえみ通り)改修、温水洗浄便座等の設置     |

### 3 ショートステイ

利用者・家族の希望に応じた受け入れ及び利用者本位の介護に努め、安定した在宅生活が継続できるよう、生活上の支援やレクリエーションなどを提供し、心身機能の回復を促します。

居室の簡易個室化改修により、周りに気兼ねなく過ごせる環境になったことを、地域・居宅介護支援事業所・家族等に広くお知らせし、利用者の定着と新規利用の獲得に取り組みます。

【目標数値】

| 目標計画         | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標 |
|--------------|---------|---------|---------|
| 利用実人数        | 38.9人   | 44.7人   | 45人     |
| 認知症予防アクティビティ | 不定期     | 不定期     | 月～金に実施  |
| 空き情報の発信      | 月1回     | 月1回     | 月2回     |

### 4 デイサービスセンター

感染症や介護技術等の内部研修を定期的に行い、正しい知識や対応方法をもとに引き続き利用者が安心、安全に利用できるようにします。また、多彩なアクティビティを提供し、認知症進行予防に努めるとともに、下肢筋力向上運動や拘縮予防運動等を行い、在宅での生活を維持できるように支援します。

I C Tを活用し居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等へ提供しているサービス内容や情報を効率的にお知らせする事で(デイ便り月1回、空き情報月2回発行)、新規利用者獲得と利用の定着を図り、選ばれる事業所を目指します。

【目標数値】

| 目標計画                   | 令和3年度実績         | 令和4年度見込         | 令和5年度目標         |
|------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 外部研修参加、内部研修開催          | 4回／年            | 5回／年            | 6回／年            |
| 新アクティビティ<br>新介護予防体操の実施 | 不定期実施           | 不定期実施           | 月1種類            |
| 利用実人数                  | I型87名<br>II型24名 | I型82人<br>II型26人 | I型85人<br>II型27人 |

## 5 ケアハウス広瀬

入居者が心身ともに健康に生活できるよう健康状態の把握に努めます。また、家族との連携を密にし、必要時にスムーズな受診ができるよう支援します。

多職種が連携し、精神的・身体的な不安や悩みを相談できる環境を整え、自立した生活が継続できるよう支援します。

毎月の行事で入居者同士の親睦を深め、メリハリのある生活が送れるように努めます。

### 【目標数値】

| 目標計画     | 令和3年度実績    | 令和4年度見込    | 令和5年度目標                |
|----------|------------|------------|------------------------|
| 健康体操の充実  | 週6回        | 週6回        | 週6回（月1回内容を更新）          |
| 毎月の行事の充実 | 集合形式の行事は3割 | 集合形式の行事は3割 | 集合形式の行事5割、内容をホームページに掲載 |

## 6 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

利用者や家族からの相談に迅速に対応し、サービス計画書に基づき必要なサービスを提供して信頼関係を築いていきます。

I C Tの活用を進めながら各事業所との連携を図り、利用状況や状態の変化を共有してサービス内容の提案を行い、利用者や家族が安心して生活できるように継続的なマネジメントを行っていきます。

### 【目標数値】

| 目標計画           | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 請求件数           | 142件／月  | 137件／月  | 155件／月  |
| サービス内容の確認・振り返り | 4回／月    | 4回／月    | 4回／月    |
| 地域活動への参加       | 1回／月    | 1回／月    | 1回／月    |

## 7 伊達市梁川地域包括支援センター

高齢者の生活上の困りごとに対し、本人・家族の話を聴き適切なサービスが包括的、効率的に提供されるよう支援します。また、認知症カフェを開催し、話ができる場の提供と地域住民の認知症に対する理解を深め、偏見をなくせるよう支援します。

地域の課題に対しては地域ケア会議を開催し、梁川地区の地域支援連絡会で協議していきます。さらに、精神疾患を抱える本人・家族が地域で安心して生活できるよう、研修に参加し職員の知識を高めるとともに、行政や保健師等と連携を密にとり、支援していきます。

### 【目標数値】

| 目標計画               | 令和3年度実績      | 令和4年度見込      | 令和5年度目標                      |
|--------------------|--------------|--------------|------------------------------|
| 相談実績               | 155件／月       | 188件／月       | 195件／月                       |
| 認知症カフェ開催           | 1回／年         | 4回／年         | 4回／年                         |
| 地域ケア会議             | 0回／年         | 1回／年         | 1回／年                         |
| 介護保険や認知症の理解促進、普及活動 | コロナの影響で実施できず | 社協主催の地域活動に協力 | 出前講座、認知症サポーター養成講座の開催、地域活動の協力 |

## 令和5年度川俣ホーム事業計画

### 1 全体

川俣町の高齢化率は依然高く、2040年には65歳以上の高齢者人口はほぼ横ばいとの予測があるのに比べ、高齢者を支える生産年齢人口（15歳～64歳）は大幅に減少の見込みとなっています。町内は高齢者世帯や独り暮らしの割合も増加傾向にある中、多様なニーズに対応可能な事業所を目指し、必要な支援と提供するサービスのマッチングを図るため、各事業の特色について発信力を高め、利用促進、地域とのつながりを強化していきます。

また、地域に必要とされる施設であり続けるため、計画的施設整備、コスト削減による経営の安定と、利用者本位の介護、接遇意識の徹底、ICT機器の活用促進により、質の高いサービスを継続して提供していきます。

#### 【目標数値】

| 目標計画  |           | 令和3年度実績 | 令和4年度見込 | 令和5年度目標 |
|-------|-----------|---------|---------|---------|
| 平均稼働率 | 特別養護老人ホーム | 97.9%   | 97.0%   | 98.5%   |
|       | ショートステイ   | 74.6%   | 78.0%   | 85.0%   |
|       | デイサービスⅠ型  | 78.2%   | 77.0%   | 83.0%   |
|       | デイサービスⅡ型  | 68.7%   | 58.7%   | 69.0%   |

### 2 特別養護老人ホーム

#### (1) 介護

利用者の多様なニーズに対応できるよう日頃のコミュニケーションを大切に、個別の対応、季節を感じられる近隣への外出など利用者の気持ちに寄り添える介護を実践します。誤嚥性肺炎の予防のため歯科医協力の下、定期的な勉強会を開催するなど口腔ケアに力を入れ、口から安全に食べることが継続できるように努めます。看取りにおいては、利用者が最期までその人らしく居続けられるよう、家族との面会などを通じて穏やかに過ごしていただけるように努めます。

#### 【目標数値】

| 目標計画                 | 令和3年度実績        | 令和4年度見込        | 令和5年度目標          |
|----------------------|----------------|----------------|------------------|
| 季節を感じるレクリエーション・行事の実施 | 不定期に実施         | 不定期に実施         | 1回／月             |
| 口腔ケアの定期的な勉強会の実施      | 実施せず           | 2回／年           | 2回／年             |
| 満足度調査結果              | 満足と回答<br>95.9% | 満足と回答<br>96.2% | 満足と回答<br>97.0%以上 |

## （２）看護

日々の利用者の健康状態の把握、定期健康診断の実施、日常の協力病院との連携により、異常の早期発見、早期対応に努めます。また、利用者の看取り期、体調不良などにも、利用者の意向や家族の気持ちに柔軟に対応します。感染症対策においては、施設全体で最新の情報の収集と、職員への周知による予防措置の実施に努め、発症時においても、事業継続計画（ＢＣＰ）に基づき速やかな対応を図ります。

### 【目標数値】

| 目標計画            | 令和３年度実績 | 令和４年度見込 | 令和５年度目標 |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 感染症によるクラスター発生件数 | ０件      | １件      | ０件      |
| 感染症ＢＣＰ訓練        | ２回／年    | ２回／年    | ３回／年    |

## （３）機能訓練

日常生活リハビリに重点を置くため、専門的知識、対応方法を利用者の身体機能に応じ多職種に伝達共有し、利用者の自立支援、安全な介助につながるように努めます。訓練計画書の具体化、タブレットなどによる視覚的アプローチを強化し、情報共有、説明により利用者の達成感と家族の安心感につなげます。

### 【目標数値】

| 目標計画                  | 令和３年度実績 | 令和４年度見込 | 令和５年度目標 |
|-----------------------|---------|---------|---------|
| 多職種で利用者への介助方法を共有      | 不定期に実施  | 不定期に実施  | １回／月    |
| 個別機能訓練実施の様子を計画書送付時に添付 | －       | －       | １回／年    |

## （４）生活相談

入所検討委員会で決定された順位に沿って上位待機者の実態調査を複数名進めておき、空床が出た際には速やかに入所を進められるよう準備を整えるなどし、スムーズな入所を進めていくことで目標数値の達成を目指します。常に利用者の権利擁護、虐待防止の徹底を図るため定期的な研修の実施、苦情や要望には迅速かつ適切に対応するなど、利用者、家族の思いに寄り添う相談支援に努めます。

### 【目標数値】

| 目標計画            | 令和３年度実績 | 令和４年度見込           | 令和５年度目標            |
|-----------------|---------|-------------------|--------------------|
| 入所までの空床期間       | 平均９日    | 平均９．３日<br>(１２月現在) | 平均９日以内             |
| 相談援助・苦情対応スキルの向上 | －       | 外部研修１名            | 外部研修 １名<br>係内研修 隔月 |

### (5) 栄養管理

全身状態、咀嚼、嚥下機能を多職種と共有し、利用者の低栄養防止・改善を図るため栄養ケア計画に基づく管理、経口摂取維持につなげます。

また、季節の移り変わりが身近に感じとれるような、日本の風習や食に関する行事、イベントの充実を図り、利用者の食の満足度向上に努めます。

#### 【目標数値】

| 目標計画            | 令和3年度実績 | 令和4年度見込        | 令和5年度目標          |
|-----------------|---------|----------------|------------------|
| 経口維持計画書作成       | 15%／65人 | 58%／65人        | 70%／65人          |
| 食に関する行事・イベントの実施 | 0回／年    | 2回／年           | 5回／年             |
| 嗜好調査による満足度      | —       | 満足と回答<br>80.0% | 満足と回答<br>85.0%以上 |

### (6) 総務管理

財務管理においては、経常経費の削減に努め健全な財務運営を行います。また、定期的な施設保守点検や長期修繕計画に基づく施設整備を図り、施設の長寿命化に努めます。労務管理においては、職員のワークライフバランスの充実をめざし、休暇を取得しやすい環境に努めます。危機管理においては、災害時においても業務を継続できるよう事業継続計画（BCP）を整備し、定期的な訓練実施を行います。

#### 【目標数値】

| 目標計画          | 令和3年度実績       | 令和4年度見込       | 令和5年度目標          |
|---------------|---------------|---------------|------------------|
| 経常経費の削減       | 前年度比<br>2.4%減 | 光熱費高騰により前年度比増 | 前年度比5%削減         |
| ワークライフバランスの充実 | 連続休暇取得の推進     | 連続休暇取得の推進     | 連続休暇取得の推進        |
| 防災訓練・BCPの充実   | 防災訓練年2回実施     | 年3回の実施        | 年3回の実施<br>BCPの整備 |

## 3 ショートステイ

在宅生活が維持継続できるよう、レクリエーションを通じて楽しみや意欲向上の機会を設け、日常生活動作の低下予防を支援します。心身機能の低下予防、在宅生活の自立度の向上に資するきめ細やかなサービス、温かみのあるケアを提供し、事業所通信などで施設の良さを地域へ発信していきます。

また、ICT活用により関係事業所、家族に情報を視覚的に提供することで根拠あるサービス提供と安心につながるよう努めます。

#### 【目標数値】

| 目標計画                    | 令和3年度実績        | 令和4年度見込          | 令和5年度目標          |
|-------------------------|----------------|------------------|------------------|
| 利用実人数                   | 36名／月          | 35名／月<br>(12月現在) | 38名／月            |
| レクリエーション・アクティビティ数（開催回数） | 1回／週           | 1回／週             | 2回／週             |
| 満足度調査結果                 | 満足と回答<br>90.0% | 満足と回答<br>93.0%   | 満足と回答<br>95.0%以上 |

#### 4 デイサービス

身体機能の維持向上、認知症予防、精神面での安定を目的としたユマニチュードの技法を取り入れたコミュニケーションを実践することで利用者の心が安定し、穏やかに過ごしていただけるよう支援していきます。また、地域に根差した事業所を目指していくため、川俣町地域包括支援センターと共催のオレンジカフェで介護相談会を行い、在宅での介護に役立つ情報の発信に努めます。また、居宅介護支援事業所、家族などへの情報共有のツールとしてタブレットなどのICT機器を活用し、利用中の様子など見て頂くことで理解を深め、より安心して利用していただけるよう努めます。

##### 【目標数値】

| 目標計画                       | 令和3年度実績            | 令和4年度見込                       | 令和5年度目標            |
|----------------------------|--------------------|-------------------------------|--------------------|
| 利用実人数（Ⅰ・Ⅱ）                 | Ⅰ型41名／月<br>Ⅱ型25名／月 | Ⅰ型44名／月<br>Ⅱ型25名／月<br>(12月現在) | Ⅰ型45名／月<br>Ⅱ型30名／月 |
| オレンジカフェにおける相談件数、利用につながった件数 | —                  | —                             | 2件／月               |
| 外出行事の実施                    | 不定期に実施             | コロナにより中止                      | 2回／年               |
| 満足度調査結果                    | 満足と回答<br>93.9%     | 満足と回答<br>94.2%                | 満足と回答<br>95.0%以上   |